

令和4年度（令和3年度実施）
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査
 筆記審査（専門教養）
 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
 農業

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 次の1～9の問いに答えなさい。

1 日本の農業を支える自然環境に関する説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 梅雨，台風，雪など，年間を通して降水があり，諸外国に比べると降水量はかなり多い。
- b 土壌には，酸性であったり，水はけの良否，養分量の違いなどの特徴があるが，日本の農地には，肥沃な土壌が多く，資源としての価値が高い。
- c 日本の大部分は，寒帯から熱帯に属し，暑い夏，寒い冬，そのあいだの寒暖の変化の多い春と秋があり，四季の区分がはっきりとしている。
- d 中央部の山脈，中山間地，小さな平地，広い平野部など，さまざまな地形があり，地域によってさまざまな気候や土壌の環境が作り出されている。その結果，ほかの国の同じ緯度帯の地域と比べて，植物の種類が豊富である。

2 次の表は，平成2年度及び平成30年度の高知県における主要果樹類の栽培面積，10a当収量，出荷量を示したものである。①～④に該当する品目の組み合わせとして正しいものを，下のa～dから一つ選びなさい。

区分	平成2年度			平成30年度		
	栽培面積	10a当収量	出荷量	栽培面積	10a当収量	出荷量
①	735	2,130	13,900	327	2,070	6,210
②	326	1,700	3,860	435	2,783	12,118
③	272	1,150	2,720	115	2,679	3,086
④	460	1,160	4,170	870	1,341	11,663

単位：ha, kg, t

- a ① ぶんたん ② ぼんかん ③ ゆず ④ みかん
- b ① ぼんかん ② ゆず ③ みかん ④ ぶんたん
- c ① ゆず ② みかん ③ ぶんたん ④ ぼんかん
- d ① みかん ② ぶんたん ③ ぼんかん ④ ゆず

- 3 令和2年3月策定の「第4期高知県産業振興計画」における農業分野の戦略の柱と取り組み内容の組み合わせとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ウ

	戦略の柱	取り組み内容
a	生産力の向上と高付加価値化による産地の強化	「次世代型こうち新施設園芸システム」の普及
b	多様な担い手の確保・育成	優良農地の確保や担い手への農地集積
c	中山間地域の農業を支える仕組みの再構築	集落営農組織と中山間農業複合経営拠点の拡大
d	流通・販売の支援強化	大規模直販所「とさのさと」の活用

- 4 作物の生育に関する気象要素とその管理に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。 エ

- a 光合成、呼吸、発芽、成長など植物のほとんどの生理作用は、温度に敏感であり、それぞれの作物には生育適温という生育に最もよい温度の範囲がある。
- b 一定の強さをこえると光合成の速さが頭打ちとなるときの光の強さを光補償点といい、陽生植物では光補償点は高く、陰生植物では低い。
- c よく晴れた日の朝と昼頃の太陽光の色は異なるような光の混ざり方をし、このような光の混ざり方の差異を光周性という。植物によっては、同じ光強度でも光合成や成長に差が生じる場合がある。
- d 施設栽培では、作物の活発な光合成によって二酸化炭素濃度が増加し、光合成が抑制されるのを避けるために換気が必要である。

- 5 作物の養分と肥料に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

オ

- a 植物が比較的多量に必要とする9元素を多量元素といい、炭素、酸素、水素、窒素、リン、カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄がある。
- b 肥料の三要素のうち一つの成分のみを含むものを単肥といい、油かす、魚粉などがある。
- c 作物の生育期間の途中で施す肥料を追肥という。追肥は作物の生育に応じて施すので、緩効性肥料を用いる。
- d 施肥量は、各地で作物ごとの施肥基準が設定されており、それを参考に施すことが基本である。

6 家畜の飼料と栄養に関する説明として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 一般に、栄養価の高い飼料で育てると成長は速いが、肥りすぎて肉質が悪くなることがある。
- b 家畜にとって必要な栄養素の種類や養分要求量などの目安を示したものを飼養標準という。
- c 濃厚飼料は、直接栄養分として吸収される成分は少ないが、繊維質が豊富な牧草や乾草などである。
- d 反すう胃内に生息している数多くの微生物が、単胃動物では利用できないセルロースを分解し、栄養分として利用できるように変化させている。

7 大気の調査に関する説明として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 温室効果をもつ気体を温室効果ガスといい、二酸化炭素のほかに、メタンや一酸化二窒素などがある。
- b フロンなどの化学物質により、オゾン層が破壊されることによって地上に届く紫外線量は増え、生物への悪影響が増加すると考えられている。
- c 化石燃料の燃焼の際に発生する発がん性の浮遊粒子状物質のうち、粒径が2.5mm以下のものをPM2.5という。
- d 自動車や工場などから排出される窒素酸化物と炭化水素が紫外線を受けると、光化学オキシダントが生成される。

- 8 次の文は、農村の環境整備について説明したものである。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

ク

国は、バイオマス・ニッポン総合戦略に基づき、(①) 構想を立て、地域に適したバイオマスの利用をうながし、(②) 社会を推進してきた。なかでも(③) バイオマスによる発電は、森林資源が多いことや持続的な利用が可能なこと、二酸化炭素を増やさない(④) なエネルギー源であることから、導入が最も期待されている。

- | | | | |
|---|---------------|---------|--------|
| a | ① バイオマスタウン | ② 循環型 | ③ 木質 |
| | ④ カーボン・ニュートラル | | |
| b | ① バイオマスタウン | ② 低コスト型 | ③ 資源作物 |
| | ④ ハイブリッド | | |
| c | ① バイオマス資源 | ② 低コスト型 | ③ 木質 |
| | ④ カーボン・ニュートラル | | |
| d | ① バイオマス資源 | ② 循環型 | ③ 資源作物 |
| | ④ ハイブリッド | | |

- 9 学校農業クラブ活動に関する説明として誤っているものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。 ケ

- a 1948年に全国の農業高校で誕生後、都道府県ごとに連盟がつくられ、1950年に全国組織として日本学校農業クラブ連盟が結成された。
- b 農業やそれに関連する学習を通して、創造力、表現力、連帯感などを身につけるとともに、学習した知識や技術を自分のものにするための実践的な活動である。
- c 三大目標の一つである「指導性」は、プロジェクト学習を通して、農業や関連産業に必要な知識・技術を身につけ、諸問題を合理的に解決する力を身につけることを目指すものである。
- d 三大目標の一つである「社会性」は、さまざまな活動を通して、協力し合ったり、地域社会のいろいろな行事に参加して、公共に奉仕したりする精神を養うことを目指すものである。

第2問 次の1～11の問いに答えなさい。

1 イネの病害虫に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ア

- a 紋枯れ病は、病原菌が種もみや被害わらで越冬し、箱育苗で容易に伝染して苗に発病する。本田では微量元素などが欠乏した老朽化水田で発生しやすい。
- b 縞葉枯れ病は、日照不足・高温多湿で発生しやすく、また冷水田や密植、多窒素施肥で多くなる。防除には、抵抗性品種を用い、早めに薬剤散布などを行うことが必要である。
- c イネアオムシは、茎葉から汁液を吸って害を及ぼすだけではなく、ウイルス病などの媒介をすることから、早期に薬剤散布により防除する。
- d メイチュウ類は、とくに分けつ期から出穂期にかけて葉鞘や茎を食害し、幼穂を枯死させる。多窒素施肥では被害が大きいので、施肥を控えめにし、薬剤散布を行う。

2 草花のさし木繁殖に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

イ

- a さし木は、種子繁殖よりも増殖効率はよいが、得られた苗の生育は種子繁殖よりも遅い。
- b さし木は、セントポーリアの花弁の模様やサンセベリアの斑入りなど、不安定な性質を、そのまま維持して繁殖させることができる。
- c 葉の多いさし穂は、葉から蒸散し過ぎないように、葉の数を少なくし、葉の大きなさし穂では、葉を切って小さくする。
- d さし木の発根を促すため、植物ホルモンのオーキシンの一種であるダミノジットが用いられる。

3 養液栽培の長所に関する説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ウ

- a 養水分のストレスがないため、生育速度が速い。
- b 土壌病害虫や塩類集積などによる連作障害を避けることが可能である。
- c 作業環境がきれいで、手間のかからない生産が可能である。
- d 肥料費・光熱費などの生産費が低くなる。

4 トマトの栽培管理に関する説明として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 苗には、十分光が当たるように随時、間隔をとり、かん水は苗の成長とともに多めにしていく。
- b 土壌伝染性の青枯れ病や萎ちょう病、ネコブセンチュウなどの予防として、抵抗性をもつ台木につぎ木を行う。
- c 仕立て方は、主枝1本仕立てや2本仕立て、連続摘心仕立てなどがある。
- d 低温期の施設栽培では、昼間は光合成を促進するために高温（23～28℃）、夜は呼吸をおさえるために最低温度（8～10℃）とする。

5 果樹の結果調節に関する説明として正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 摘花・摘果は、花や果実の初期成長が前年度の貯蔵養分を消費しながら起こるので、遅い時期に行うほど効果が大きい。
- b 摘花・摘果で残す果実の程度は、葉果比で表したり、枝上の果実間の距離や、単位面積あたり、あるいは樹冠の容積あたりの果実数で判断する。
- c 摘果は、薬剤を用いた方法も実施され、ジベレリンはウンシュウミカンの摘果に使用されている。
- d 隔年結果を防ぐには、摘花・摘果以外に、安定した花芽着生をはかるようなせん定を行い、カリ肥料の多用を避け、枝を徒長させないことも大切である。

6 ブタの病気の症状に関する説明として正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 流行性脳炎のじんましん型は、発熱、食欲不振がみられ、皮膚に紫赤色はん点ができ、あとでかさぶたになる。妊娠豚は流産する。
- b 口蹄疫は、蚊が媒介するため、夏から秋に多い。成豚は症状を示さないが、妊娠豚では死産となる。
- c 豚丹毒は、発熱、元気消失、多量のよだれなどがみられ、舌や口、ひづめなどに水ぼうが形成され、摂食や歩行が阻害され、体力を消耗する。
- d 豚コレラは、高熱を發し、食欲がなくなり、便秘、下痢がみられ、下腹部に紫はんができ、まひやけいれんで歩行困難となる。接触感染で、100%死亡する。

7 農林水産業分野の知的財産権に関する説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 育成者権の対象は、作物の新品種として新たに育種された種苗で、いちごの「とちおとめ」などがある。
- b 特許権の対象は、肥料、農薬、栽培技術など、産業上利用できる発明で、四角いメロンの栽培方法や栽培用型枠などがある。
- c 意匠権の対象は、農耕具など物品にかかわる産業上利用できる考案で、自然薯を栽培するパイプなどがある。
- d 商標権の対象は、販売者の名称やマークなど、商品につけられる標章で、「ごっくん馬路村」などがある。

8 農産物の需要と供給の特徴に関する説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 生鮮食料品は、腐敗が早く傷みやすい反面、鮮度が重視されるため、消費者は、多種多様な品目を、まとめ買いする傾向が強い。
- b 牛肉の価格が高くなると、豚肉の需要が増加するなど、農産物は需要面での代替が可能なものがある。
- c 農業生産は自然条件に大きく左右され、台風、長雨、低温などの気象の影響を受けて収穫量が大きく変動し、安定した供給が難しい。
- d 農産物は生産時期や産地が自然条件に左右され、生産・供給の季節性、地域性が強い。

9 乗用トラクタの転倒・転落しやすい構造上の特徴に関する説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

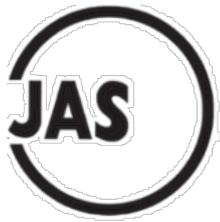
- a 重心が地上から高く、後車軸に近い場合が多い。
- b 軸距と輪距が同等のエンジン出力の自動車などと比べて短い。
- c 左右のブレーキを個別に作動できない。
- d 旋回時前輪増速装置を備えている場合が多い。

10 米みその製造工程の順番として正しいものを，次の a～d から一つ選びなさい。

- a 蒸煮大豆と塩切り麴を混合 → 食塩・種水添加 → 仕込み・発酵・熟成 → 切返し → 調整 →
- b 蒸煮大豆と塩切り麴を混合 → 食塩・種水添加 → 仕込み・発酵・熟成 → 調整 → 切返し →
- c 蒸煮大豆と塩切り麴を混合 → 食塩・種水添加 → 切返し → 仕込み・発酵・熟成 → 調整 →
- d 蒸煮大豆と塩切り麴を混合 → 食塩・種水添加 → 調整 → 仕込み・発酵・熟成 → 切返し →

11 次の図は，各種のJASマークである。①～③に該当する名称の組み合わせとして正しいものを，下の a～d から一つ選びなさい。

①



②



③



- a ① JASマーク ② 特色JASマーク ③ 有機JASマーク
- b ① JASマーク ② 有機JASマーク ③ 特色JASマーク
- c ① 特定JASマーク ② 特色JASマーク ③ 有機JASマーク
- d ① 特定JASマーク ② 有機JASマーク ③ 特色JASマーク

第3問 次の1～8の問いに答えなさい。

1 平板測量に用いる器具に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 三脚頭部には、平板を水平にする整準ねじと、平板を移動させる移心装置がある。なお、三脚頭部が半球面になったものには整準ねじがない。
- b アリダードは、平板上で目標を視準し、その方向線を図上に引く器具であり、アリダードについている求心器を用いて平板を水平にする。
- c 測量針は、図上の測点にたて、目標を視準する場合に、アリダードの定規縁をあてて用いる。針の径が太いほど誤差は少ないので、絹針か専用の針を用意する。
- d ポールは、測点の明示、測線の方向の決定などに広く用いられ、ふつう50cmごとに赤・白に塗りわけ、目標としてみやすいようにしてある。

2 水準測量の基準に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ジオイドは、陸地の高さの基準面であり、日本では、東京湾の平均海面をジオイド、つまり高さの基準面としている。
- b 楕円体高は、日本では、東京湾平均海面からの高さ（鉛直距離）のことをいう。
- c 日本経緯度原点は、固定された標高の基準として、東京湾の平均海面から+24.3900mの高さに設置されている。
- d 三角点は、精密な水準測量によって、標高が決まっている点で、水準測量を行う場合の基準となる。

3 基礎工に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 浅い基礎は、直接基礎と呼ばれ、比較的浅いところにある支持地盤に直接支持させるもので、ケーソン基礎や杭基礎がある。
- b 深い基礎は、深いところにある支持層の地盤に支持させるもので、構造物の重量が大きい場合などに用い、いかに基礎やフーチング基礎がある。
- c 基礎工の設計に当たっては、適当な根入れ深さがあること、上部からの荷重を安全に支持すること、基礎の沈下に対して安全であることなどを考慮する必要がある。
- d 基礎に作用する荷重のうち、活荷重は、上部構造物の自重で、擁壁・橋台などの自重および基礎に加わる土砂の重量である。

4 労働安全衛生法に基づく安全衛生管理体制の構築に関する説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 事業場における安全衛生を確保するためには、労働者の意見が十分に反映される必要がある。
- b 現場の管理体制を構築するために、統括安全衛生責任者、元方安全衛生管理者や安全衛生管理者、産業医の選任を義務づけている。
- c 労働災害を防止するための管理を必要とする一定の作業について、作業主任者の設置が定められている。
- d 常時10人以上の労働者を使用する事業場には、安全委員会と衛生委員会の設置が定められている。

5 チェーンソーによる樹木の伐採に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 伐採の季節は、かつては夏季が適当とされていたが、最近は季節に関係なく伐採が行われている。
- b 山割りは、ふつう谷から峰のほうに向かって横割りにし、各採面の樹種・本数・材積はできるだけ均等になるようにする。
- c 伐倒方法は、チェーンソーを用いて伐倒方向の反対側から受け口をつくり、ついで、伐倒方向に向けて受け口の3分の2の高さに追い口を入れる。
- d チェーンソーによる振動障害の予防対策として、使用時間の制限、防振手袋の使用、保温性の高い衣類の着用、体操の励行などがある。

6 森林の大きさの調査に関する説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 山の斜面で胸高直径を測るときは、測定者は測る木に対して斜面の下側に立ち測定する。
- b 輪尺は、普通目盛のほかに直径目盛がついている胸高直径を測る道具で、木の周りの長さに直径目盛をあわせると、読んだ値が直径を示すようになっている。
- c 樹高を直接測定する場合、樹高が15m程度までなら、木の根元から伸縮式のポールを伸ばして樹高を測定する測竿を利用する。
- d ワイゼ式測高器は、ドイツ製で軽く、距離測定補助板を使った距離計がついている三角関数の原理による測高器の一つである。

7 土の透水性と凍上に関する説明として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

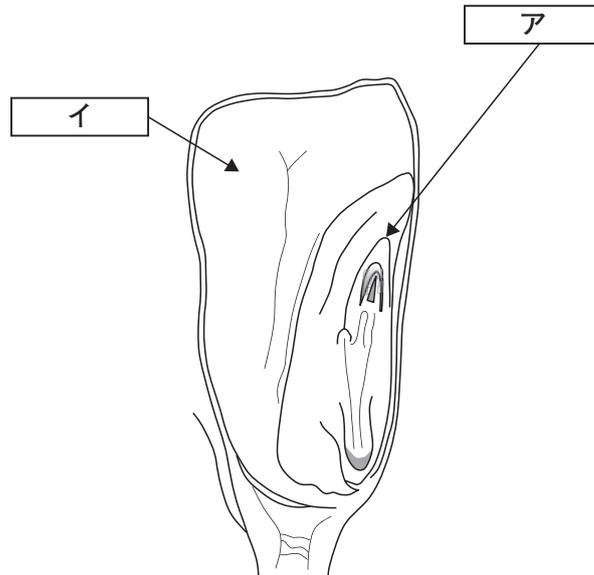
- a 土中の水は、自由水、毛管水、吸着水に分けられるが、そのうちの自由水と毛管水は土中のすきまを重力作用、毛管作用によって移動する。
- b 地盤が冷却されて土中の水分が凍結し、地面を隆起させる現象を凍上といい、地中で霜柱が発生し、土の体積が膨張するために起こる。
- c 路盤や路床の凍上や凍害を防ぐには、不良な土層を凍害の少ない材料に置き換える置換工法などの対策がある。
- d 土中の水の流れやすさを示すには、ダルシーの法則による透水係数が用いられ、透水性が高い土は、透水係数の値が小さい。

8 植栽で用いられる樹木の分類と主な樹種の組み合わせとして正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

	分類	主な樹種
a	常緑針葉樹	カラタチ, サルスベリ, センダン
b	常緑広葉樹	スダジイ, ヒイラギ, ヤマモモ
c	落葉広葉樹	イトラン, バショウ, ワシントンヤシ
d	特殊樹木	イチイ, イヌマキ, チャボヒバ

第4問 次の1～5の問いに答えなさい。

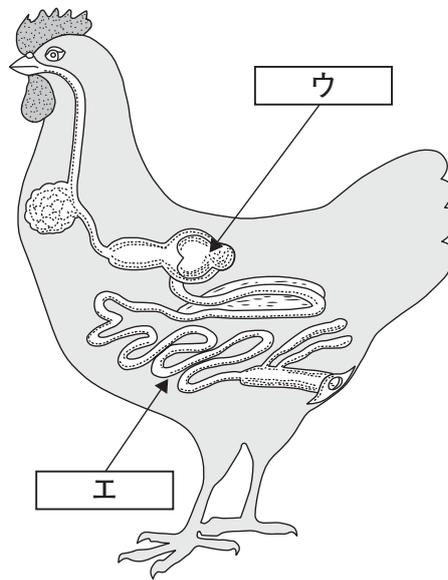
- 1 次の図は、トウモロコシのたねの構造を模式的に描いたものである。図中の ・ に該当する名称を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。



- a 鞘葉 b 胚軸 c 幼根 d 胚盤

- a 胚 b 種皮 c 胚乳 d 根鞘

2 次の図は、ニワトリの消化器官を模式的に描いたものである。図中の **ウ** ・ **エ** に該当する名称を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。



ウ

- a 筋胃 b 膵臓 c 腺胃 d 素のう

エ

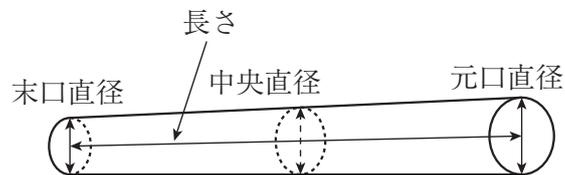
- a 空腸 b 回腸 c 十二指腸 d 直腸

- 3 次の表は、ある野菜の施肥基準を示したものである。30 a の畑に元肥として複合肥料（N - P - K : 15 - 15 - 15）を使って施肥を行うとき、施肥基準を満たす複合肥料の重量を求めなさい。ただし、肥料の成分として不足するものは、尿素、過リン酸石灰、塩化カリウムで施し、施肥基準を超えないようにすることとする。 kg

表 野菜〇〇の施肥基準（10 a 当たり）

成分	施肥量
窒素	10 kg
リン酸	7 kg
カリ	9 kg

- 4 樹木の害虫防除のため、250倍の薬剤水溶液を60 L 作るために、必要な薬剤の mL 数を求めなさい。 mL
- 5 中央直径が30 cm、長さが5 m である丸太の材積を、フーベル式を使って求めなさい。なお、円周率は3.14 とする。小数点第4位を四捨五入し、小数点第3位までを記入すること。 m³



【選択問題 高等学校】

第5問 次の1・2の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 農業編 第2章 農業科の各科目 第1節 農業と環境 第1 目標である。[ア]～[エ]に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・[ア]な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業と環境について体系的・[イ]に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 (2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や[ウ]に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
 (3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や[エ]に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

[ア]

- a 社会的 b 探究的 c 科学的 d 体験的

[イ]

- a 継続的 b 系統的 c 計画的 d 具体的

[ウ]

- a 家畜の飼育 b 林業 c 農業関連産業 d 食品産業

[エ]

- a 社会貢献 b 生産性の向上 c 環境保全 d プロジェクト学習

2 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 農業編 第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 第1節 指導計画の作成に当たっての配慮事項である。[オ]～[コ]に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

- (1) [オ]など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、農業の見方・考え方を働かせ、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用の視点で捉え、持続可能で創造的な農業や[カ]と関連付けるなどの実践的・体験的な学習活動の充実を図ること。
- (2) 農業に関する各学科においては、「農業と環境」及び「課題研究」を原則として全ての生徒に[キ]させること。
- (3) 農業に関する各学科においては、原則として農業科に属する科目に配当する総授業時数の10分の5以上を実験・実習に配当すること。また、実験・実習に当たっては、[ク]を取り入れることもできること。
- (4) 地域や産業界、農業関連機関等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験を積極的に取り入れるとともに、[ケ]を積極的に活用するなどの工夫に努めること。
- (5) 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、[コ]に行うこと。

[オ]

- a 単位 b 単元 c 授業 d 各科目

[カ]

- a 地域資源 b 食文化の継承 c 生物多様性の保全 d 地域振興

[キ]

- a 習得 b 学習 c 履修 d 指導

[ク]

- a 地域活動 b 調査, 見学 c ホームプロジェクト d 産業現場実習

[ケ]

- a 社会人講師 b 農業経営者 c 優れた技術者 d 外部機関

[コ]

- a 経時的 b 組織的 c 有機的 d 教育的

【選択問題 特別支援学校】

第5問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの

a 0.1 b 0.2 c 0.3 d 0.4

a 50 b 60 c 70 d 80

a 家庭生活 b 学校生活 c 社会生活
d 職業生活

a 連続的な動作 b 初歩的な動作 c 基本的な動作
d 目的的な動作

a 生活規制 b 運動規制 c 生活の管理
d 体調の管理

- 2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

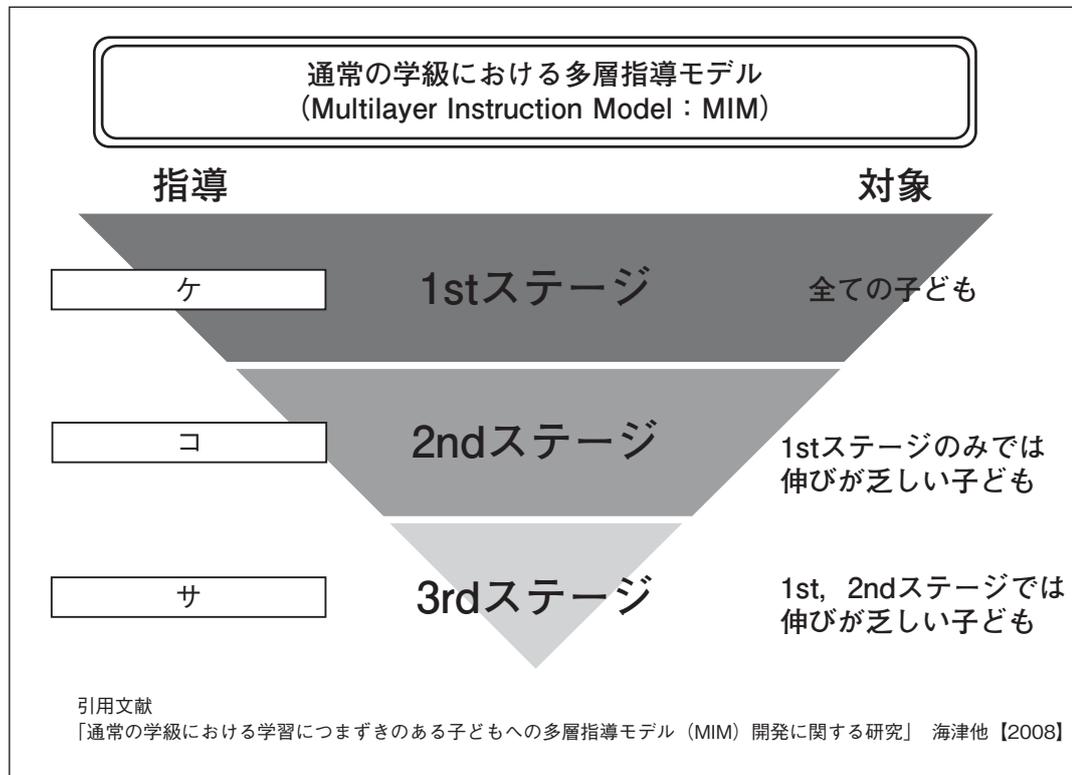
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、 を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の 関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

a 家庭 b 福祉 c 社会 d 企業

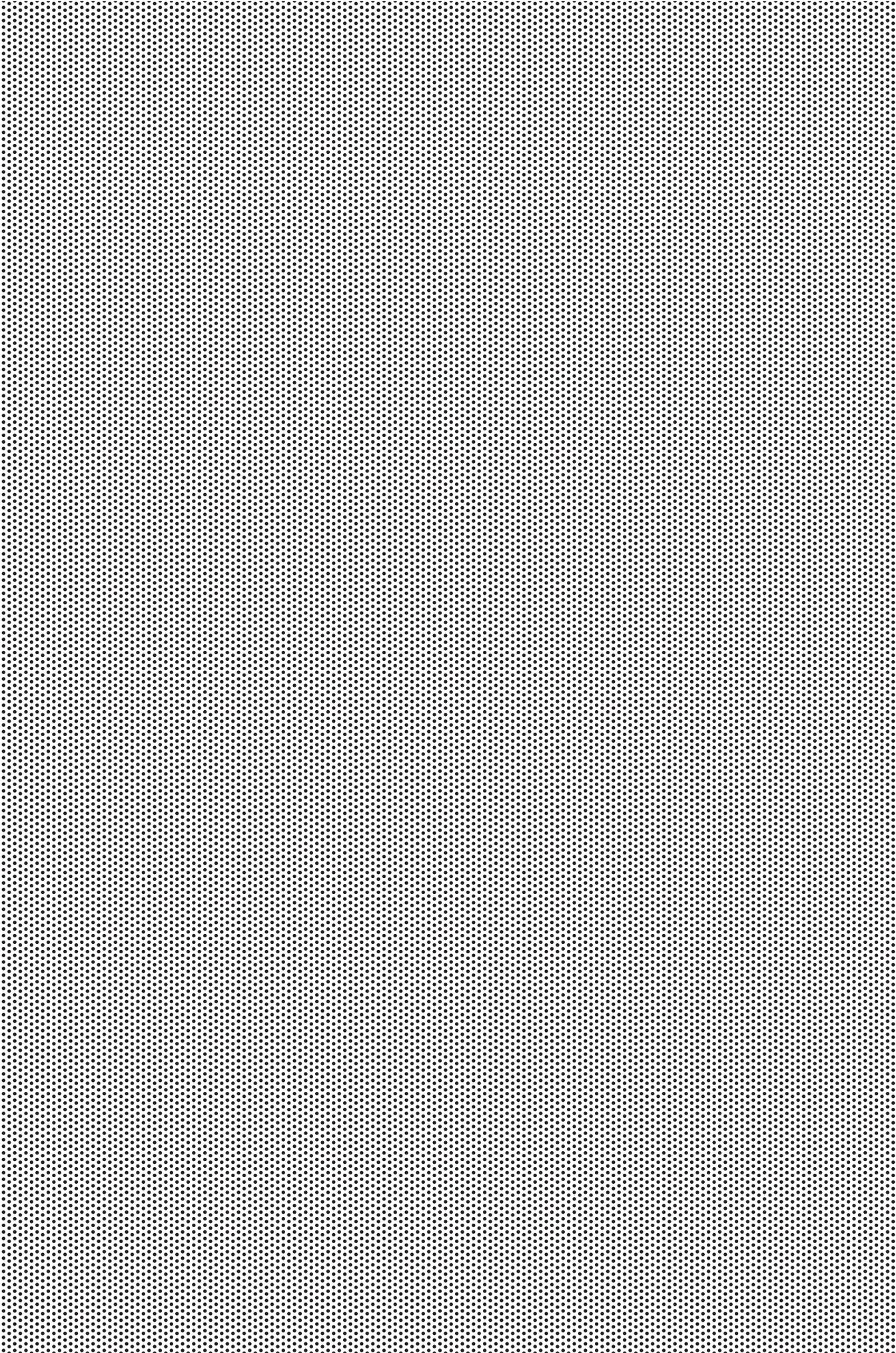
a 倫理観 b 自己肯定感 c 生活能力 d メタ認知能力

a 医療 b 就労 c 保健 d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』（平成25年3月）において，次の図は，通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の ～ に当てはまる語句を，下の a ～ d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービスのな指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の「ア」, 「イウ」などには, 数字 (0~9), 小数点 (.), 符号 (−, ±), 又は文字 (a, b, c, d, e) が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが, これらのいずれかに対応します。下の (例1) ~ (例3) に従って解答欄をマークしてください。

(例1) 「アイ」に 12 と答えたい場合

ア	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
イ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

(例2) 「ウ」に b と答えたい場合

ウ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
---	-----	-----	-----	-----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(例3) 「エオ」, 「カキ」に 34.56 と答えたい場合

エ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
オ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
カ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
キ	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

なお, 一つの解答欄に対して, 二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査 (専門教養) が終了した後, 解答用紙 (マークシート) のみ回収します。監督者から指示があれば, この問題冊子を, 各自, 持ち帰ってください。

